

第11回 小金井市都市計画マスタープラン策定委員会会議録

(全文記録)

日 時 令和4年7月13日(水) 午後6時～午後7時

場 所 本庁舎 第一会議室

出席委員 13名

委員長 野澤 康 委員

副委員長 高見 公雄 委員

委員 雨宮 安雄 委員

清水 正 委員

中里 成子 委員

平尾 あき子 委員

水庭 千鶴子 委員

若藤 実 委員

市古 太郎 委員

高橋 金一 委員

永田 尚人 委員

三笠 俊彦 委員

山本 俊明 委員

欠席委員 1名

事務局職員

都市計画課長 田部井 一 嘉

都市計画課専任主査 佐藤 知 一

都市計画課主事 川本 滋 裕

都市計画課係長 片上 昌 芳

都市計画課主任 関口 雅 也

傍聴者 7名

1. 開会

【事務局】 皆様、こんばんは。事務局を務めております、都市計画課長の田部井でございます。定刻となりましたので、ただいまから第11回小金井市都市計画マスタープラン策定委員会を開会いたします。本日も、お忙しいところお集まりいただきまして、ありがとうございます。

本日は、委員14名中13名の御出席をいただいておりますので、委員会設置要綱第5条第2項の規定により、委員会の定足数を満たしておりますことを報告させていただきます。なお、谷委員は、本日は御欠席との御連絡をいただいております。

委員会開始に当たりまして、3点ほど御説明させていただきます。1点目は、傍聴についてです。傍聴者につきましては、新型コロナウイルス感染症対策として、人数を制限させていただいております。傍聴者意見用紙を提出される方は、委員会終了後に、事務局職員まで御提出ください。第11回策定委員会の会議録とともに原文のままホームページに公開いたします。また、氏名についても公開の対象となりますことを御承知ください。なお、公開を希望されない方は、記入欄の上でございます、「資料の配布・公開を希望しない」のチェックボックスへ、チェックを記入していただきますようお願いいたします。

2点目に資料の確認をさせていただきます。まず初めに、郵送させていただいている資料と当日机上配布の資料がございますので、確認させていただきます。まず第11回 小金井市都市計画マスタープラン策定委員会 次第 A4が1枚、資料1、第10回 小金井市都市計画マスタープラン策定委員会会議録A4ホッチキス留が1部、資料2、小金井市都市計画マスタープラン（案）A4の冊子が1部、資料3、小金井市都市計画マスタープラン（案）【概要版】A4ホッチキス留が1部、資料4、傍聴者意見用紙A4ホッチキス留が1部、本日、机上に差し替えを配布させていただいておりますので、差し替えをお願いいたします。参考資料1、【第10回策定委員会】からの変更箇所（新旧対照表）A3横ホッチキス留が1部、不足の資料はございませんでしょうか。

次に3点目、会議録についてでございます。毎回の御案内となりますが、会議録作成に当たり、発言に際しましてはお名前を名乗っていただきましてから、発言をしていただきますよう、宜しくお願いいたします。よろしいでしょうか？それでは、ここからは委員長に進行をお願いします。

2. 議題

(1) 小金井市都市計画マスタープラン（案）の報告について

【野澤委員長】 皆さん、こんにちは。本日も御出席をいただきましてありがとうございます。本日でこの委員会は最終回となります。第11回ということで回を重ねてまいりましたが、本日も委員の皆様、よろしくお願ひしたいと思ひます。

今回は、まずは事務局から前回までの策定委員会での協議を踏まえた修正内容について説明をしていただき、その後、策定委員会として市長へ報告するという段取りになっております。また、本日の進行ですが、まずは次第に沿って議事を進めた後、最後ですので委員の皆様から一言ずつこの委員会に出席しての御感想をいただきたいと考えておりますので、そちらもよろしくお願ひしたいと思ひます。議事に入ります前に、資料1としてお配りしてあります前回第10回策定委員会の会議録について、既に御確認いただいているかと思ひますが、何か修正すべき点がございましたでしょうか。よろしいでしょうか。ないようですので、資料1をもちまして第10回策定委員会の会議録とさせていただきます。

では、次第2議題ですが、小金井市都市計画マスタープラン（案）の報告についてということで、まずは事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】 それでは、事務局より「小金井市都市計画マスタープラン（案）」の説明させていただきます。

資料2と参考資料1をご覧ください。赤字部分が、今回修正した箇所となっております。最終回となりますので、これまでの協議を踏まえて、全体を通して言葉遣いなどを再度整理しました。赤字部分の多くの内容は変わらないのですが、分かりやすいように表現を再度整理したものとなっております。

それでは、前回の策定委員会からの主な変更点について、御説明をさせていただきます。資料2で御説明させていただきます。

まず、全体の構成についてでございます。ページの右側に各章ごとに色分けをしてインデックスを追加しております。インデックスと本文の余白が狭くなっていますが、今回は製本時のイメージを御確認いただくためプリンター印刷機にて資料を印刷しました。製本時には専用の印刷機にて印刷しますので、インデックスと本文の余白はもう少し広くなります。

それでは、目次をご覧ください。目次の最後に「本文中の※印は用語解説がある」ことを追加しました。また、この文章は各章の目次ページの下（1ページ、19ページ、67ページ、97ページ）にも記載しております。

続きまして、1ページから4ページまでの、「序章 都市計画マスタープランの見直しについて」でございます。2ページをご覧ください。「1 都市計画マスタープランとは」について、3段落目の赤字箇所でございます。都市計画マスタープランの役割を明確にするため、「都市計画マスタープランは、都市計画の方針として定めるものであり、今後の個別の都市計画の決定・変更の指針となること」を、追加しております。

続きまして、5ページから18ページまでの、「第1章 都市を取り巻く状況」でございます。

10ページをご覧ください。第10回策定委員会での協議を踏まえ、「(5) みどり・水・環境共生」の文章に、レッドデータブック掲載種に関する記載を追加しております。また、下の図「市内の主要なみどりの分布状況」については、都立公園と都市公園が併記されていたことから、都市公園に統一しております。

続きまして、19ページから66ページまでの、「第2章 全体構想」でございます。

20ページをご覧ください。「(1) まちづくりのテーマ・基本目標」の下段の5つの基本目標について、それぞれの最後が「まちづくり」という終わり方となっていましたが、第10回策定委員会の協議を踏まえ、「まちづくり」と「まち」の使い方について整理し、最後を「まち」という終わり方に変更しております。まちづくりの基本目標や目指す将来像については「まち」という表現で整理しております。

続きまして、21ページをご覧ください。「(2) まちづくりの基本的な考え方」のイラストについてでございます。人や車、家などに色付けを行いました。

続きまして、26ページから33ページまでの、「土地利用の方針」でございます。

31ページをご覧ください。「④自然系(みどりのゾーン)」について、第10回策定委員会の協議を踏まえ、「憩いの場」を追加しております。

続きまして、34ページから41ページまでの、「道路・交通の方針」でございます。36ページ、37ページをご覧ください。「①都市計画道路の整備方針(広域連携軸・地域連携軸)」について、これまでの策定委員会等の協議を踏まえて、右側のポツの、「長期間にわたり」の前にあった「今後」という文字を無くし、36ページ「●緑の丸 広域幹線道路の整備」と37ページ「●緑の丸 幹線道路の整備」のそれぞれ右側のポツの、自然環境・景観の後に「保全」という文字を追加しております。

続きまして、42ページから51ページまでの「みどり・水・環境共生の方針」でございます。

46ページをご覧ください。「⑤水循環の保全」については、第10回策定委員会の協議を踏まえ、3つ目のポツに「地下水への影響が懸念される開発事業などは、事業による影響を把握し、対策をフィードバックする」ことを追加しております。

続きまして、52ページから59ページまでの「安全・安心の方針」でございます。内容については、大きな変更点はございません。

続きまして、60ページから66ページまでの「生活環境の方針」でございます。こちらについても内容については、大きな変更点はございません。

続きまして、67ページから96ページまでが「第3章 地域別構想」でございます。

まず69ページから78ページまでの「武蔵小金井地域」でございます。

71ページをご覧ください。武蔵小金井地域の断面イラストについて、断面の方角が分かるように南北の記載と起伏のイメージに標高を追加しております。

続きまして、79ページから87ページまでの「東小金井地域」でございます。

81ページをご覧ください。東小金井地域の断面イラストについて、こちらも断面の方角が分かるように南北の記載と起伏のイメージに標高を追加しております。なお、今回は印刷機の関係で標高の文字とインデックスが一部重なっていますが、製本時には重ならないように調整して製本する予定でございます。

続きまして、88ページから95ページまでの「野川地域」でございます。

90ページをご覧ください。こちらも他の地域と同様に断面のイラストについて、方角が分かるように東西の記載と起伏のイメージに標高を追加しております。

続きまして、92ページをご覧ください。「③みどり・水・環境共生」4つ目の●赤丸「野川クリーンセンターにおける適正処理の推進」についてでございます。前回までは、「野川クリーンセンターの整備推進」としておりましたが、野川クリーンセンターが8月に竣工する予定であることから、「整備推進」から「適正処理の推進」に変更しております。

続きまして、96ページをご覧ください。武蔵小金井地域、東小金井地域、野川地域の各地域について、現在の状況と比較できるように今昔の写真を追加しております。

続きまして、97ページから106ページまでの「第4章 まちづくりの実現に向けて」でございます。この章については大きな変更点はございません。

続きまして、107ページから153ページまでの「資料編」でございます。

108ページをご覧ください。「1 策定の経過」については、策定委員会や庁内検討委員会等の協議体制、市民協議会や市民説明会等の市民参加、都市計画審議会や市議会全員協議会を時系列で並べ、経過を分かりやすく整理しました。

また、112ページから119ページまでが「市民アンケート」、120ページから134ページまでが「市民協議会」、135ページから143ページまでが「中学生アンケート・検討会」、144ページが「パブリックコメント」、145ページから146ページが「市民説明会」、147ページが「まちづくりサロン・パネル展示」について記載しております。資料編につきましては、ぼやけて見えた箇所を修正したり、文字の色を変更するなど、表やグラフ、文字が見やすくなるように編集しております。

また、148ページからの用語集については、第10回策定委員会の協議を踏まえ、新たに都市緑

地法、レッドデータブックを追加するなど、掲載する内容を再度整理し、SDGsの解説を153ページに移動しております。

最後に、各章の写真については、小金井市観光まちおこし協会や他の計画などからも写真をお借りして、より良い写真を選別し、キャプションを追加しております。

資料2と参考資料1の説明は、以上となります。

続きまして、資料3 都市計画マスタープラン（案）【概要版】をご覧ください。今回、本編の他に概要版を作成いたしました。1ページ、2ページは「序章 都市計画マスタープランの見直し」と「第1章 都市の現状」、3ページから14ページは「第2章 全体構想」、15ページから20ページは「第3章 地域別構想」、21ページは「第4章 まちづくりの実現に向けて」を、それぞれ記載しています。内容については、本編から抜粋しておりますので、説明は割愛させていただきます。

説明は以上となります。

【野澤委員長】 ありがとうございます。結構足早に説明をいただきましたが、それでは、前回までの議論の結果ということで修正してきた結果を報告していただきましたが、何かさらに御意見等がありましたらいただきたいと思います。いかがでしょうか。

【山本委員】 山本でございます。1つ教えていただきたいのですが、用語集にネット・ゼロ・エネルギー・ハウス、ZEHですが、これは本文では記載はどこにあるのですか。

【事務局】 事務局でございます。本文の記載でございますが、49ページをご覧ください。「(4) 環境共生まちづくりの推進 ②建築物などにおける低炭素化」こちらに記載をしております。以上でございます。

【山本委員】 ありがとうございます。

【野澤委員長】 よろしいですか。ほかにいかがでしょうか。

2年ちょっとにわたってかなり様々な議論をし、市民の皆さんからもたくさんの御意見をいただいてこうやってまとまった成果でありますので、私としてはこの案で今日御臨席いただいている市長に報告したいと考えておりますが、皆様、御賛同いただけますでしょうか。

【一同】 はい。

【野澤委員長】 よろしいでしょうか。それでは、今日の資料2の都市計画マスタープラン（案）をもって市長に報告させていただきたいと思います。

小金井市長、西岡真一郎様

小金井市都市計画マスタープラン策定委員会設置要綱第2条の規定により、小金井市都市計画マスタープラン策定委員会で協議した結果がまとまりましたので、御報告を申し上げます。

多くの皆さんからたくさんの御意見をいただいたのはお聞きになっているかと思えます。特に都市計画道路の件についてはまだまだ議論が必要かと思えますが、一応都市計画マスタープランとしては今回の形でまとめて報告をさせていただく次第ですので、引き続きどうぞ市政運営のほうでこれに当たっていただければと思います。よろしくお願いいたします。

【野澤委員長】 最終回でございますので、先ほど皆さんに一言ずついただきたいとお願いをいたしましたので、恐縮ですが、こちらから順番にお願いします。雨宮委員からお願いしたいと思えます。

【雨宮委員】 雨宮です。皆さんの優秀な方々の中に入れてさせていただいて今まで来られたのも本当に委員長さんをはじめ、副委員長さん、皆さんのおかげだと思います。むしろ皆さんの足を引っ張るのが私の役目になっている気がするのですが、何の意見もない、弱者、子どもたち、本当に立派な方々の中に私みたいなのも意見をださば言わせていただきましたが、はなはだ足りなかったような気もいたします。

最後になりますが、裏方さんの事務方さん、本当に長い間ありがとうございました。体に気をつけてください。以上です。

【野澤委員長】 ありがとうございます。では続いて、市古さん。

【市古委員】 東京都立大学の市古です。今雨宮委員からもございましたが、毎回毎回の市民の皆さんのまちづくりというか、真剣なる議論というか、多様な視点というところに学ばせていただいたと思えます。それを受けて都市計画、まちづくりができること、意外と可能性があるのではないかという気がしました。それはもう一步踏み込んで言うと、都市計画道路を作ることだけが都市計画、まちづくりでは当然ないというところの受け止めというか、そういう点にも関係してくるかなと思えます。

せっかくですので、今後こういうふうなまちづくりをということで2点ほど申し上げさせていただくと、1点目は、前回話をさせていただいたのですが、そのときには道路を整備していく、道路を使いやすくしていくというときに、道路を線としてどこかとどこかをつなぐラインとして考えるだけでなく、面として都市計画はアプローチすべきなのではないか。具体的に言うと、38ページに生活道路の整備方針というふうに表示いただいています、かつ生活道路という、それは市民の生活を支える、市民の移動のニーズを支える大事な都市計画の提案だと思うのですが、これも今後具体的に整備していくに当たっては生活道路網としてアプローチしていく。その生活道路網の中には39ページの歩行空間の形成なども含めて面的に都市計画道路も含めて移動というか、交通環境を上げていく、そういったことがこの議論を通して都市計画には期待されているのではないかという気がいたします。

それからもう1点だけせっかくですので申し上げますと、最後の推進体制のところ

ですが、101ページの中段に、これも用語解説にも回ってくるのですが、エリアマネジメントという用語が登場してくるわけです。今日も武蔵小金井の駅、今日は僕は少し早めに到着いたしまして北口と南口を少しゆっくり見させていただきました。広場は本当にお母さんと子どもたちが少し遊んだり買い物をしたりということで、すごく素敵な空間が、市民の居場所の空間が生まれたなという気がいたします。そういったことをうまくこれから、作るだけでなく、それをうまくソフトというか、プログラムというか、活動でもってさらに居心地をよくしていく、そういった方向性もエリアマネジメントという言葉が1つシンボルな言葉ではありますけれども、あり得るのかなと思いましたし、かつ、このエリアマネジメントについては小金井らしいエリアマネジメントの方法論、あえて小金井らしいと申し上げたのは、まさにこの委員会の場でいろいろな立場から小金井の将来について、まちづくりについて御意見を聞く中で、何かいろいろ工夫をすることによって小金井らしい、武蔵小金井駅周辺の活性化というか、さらに居心地のいい場所にできるだろう。

さらにこれを見ていきますと、情報としては105ページのところ、協働の拠点づくりということで、仮称という表現ではございますが、市民協働支援センターという用語も書いていただいています。エリアマネジメントは商業施設も含めた、法人も含めた組織というか、活動主体ですけれども、市民協働支援センターはまさに市民が主体的にというか、いろいろ活動を提案して実現していく、そういうネットワークだと思えますけれども、こういった実現手段は都市計画と市民活動というか、地域活動がうまく連携してまちづくりを進めていく、何かそんな時代に小金井市も入りつつあるのかなという気がいたしました。

私自身は小金井市に住んでいませんけれども、引き続きお手伝いというか、関わらせていただければありがたいかなと思えました。どうもありがとうございました。

【野澤委員長】 ありがとうございました。清水さん、お願いいたします。

【清水委員】 清水と申します。この立派な資料を見て感じたことは言えなかったと思えますけれども、こういういろいろな意見を聞ける場に参加させていただいたことはすごく感謝しております。

このプランもまた何年かしたら変わっていくのかもしれませんが、その時々合ったものができていけば幸いかなと思えます。

人だけでなく、今はペットを飼っている人もいっぱいいますので、そのあたりとかも少し計画に入っていければよろしいかなと思えます。すみません、ちょっととりとめもない言い方ですけど、ありがとうございました。

【野澤委員長】 ありがとうございました。それでは高橋さん、どうぞ。

【高橋委員】 江戸時代から農家をやっている末裔の高橋です。このプランに参加させていただき

まして本当にありがとうございました。もうすぐ東京では東京盆が始まるわけですが、我々多摩地域の農家のお盆というのは実は7月30日から1日、2日というところで、普通の皆様とは違う地域なのですが、とにかく私としては皆様の御意見の中で都市に残された農地というものが非常に大切なものだとことを多くの方々が御意見の中で言っていたことにまず感謝を申し上げます。仲間の農家さんたちにもそういう意見があったということで、これからも適切な農地の利用の仕方、また教育とか、そういう公的な機能も発揮するようにお願いしていくつもりでございます。

私が今日一番言いたいのは、このマスタープランという新しくでき上がったものをベースとして小金井にお住みになっている方々、また働きに来ている方々、すべての人たちがこういうものを利用しながら参加、参画する形でまちづくりを自分たちで作っていく、そのベースにこれになっていただけるとありがたいと思います。それは単なる時間の余裕がある方だけでなく、ちょっとした関わり合いがないような方々も含めて、消費活動も含めてそういう形でつながっていくということがこのまちに住んでいるということによかったな、働きに来てよかったなというふうに言ってもらえるのではないかと考えています。

今回途中でコロナがあったりウクライナの戦争があったりととんでもないいろいろなことも起きましたけれども、子どもたちが参画して意見を出すとか考えていただく、これはまさしくこれから先の未来の小金井を作っていく上で1つのいいトライだったかなと思っています。そういう意味で、これから先、このプランを生かしていくものとする中で、これからも子どもたちにも参加していただいて、自分たちもこのまちに関わり合いを持っているんだという経験ができればありがたいと思っていますし、私は農家としてそういうような働きができるようにこれからは私自身も努めていきたいと思っています。とにかく参加させていただいて感謝申し上げますし、このプランを利用させていただいて、よりよいまちになるように努力をさせていただきますという発言で終了させていただきます。どうもありがとうございました。

【野澤委員長】 ありがとうございました。では続きまして中里さん、お願いします。

【中里委員】 中里です。感想を申し上げる前に質問をお願いしたいのですが、このマスタープランは何部ぐらい作成されて、概要版は何部ぐらい作成されるのでしょうか。

【事務局】 事務局でございます。都市計画マスタープランの本編は500部、概要版は1000部で予定をしております。以上でございます。

【中里委員】 ありがとうございました。感想ですが、毎回会議の中で活発な意見が交わされまして、また市民協議会や中学生検討会なども、各世代、各方面から御意見をいただけたと思いますし、今時点で小金井市にとって最良なマスタープランができ上がったのではないかと考えております。

私自身は何の専門的知識もなく、バックグラウンドもございませんけれども、小金井市には災害に強いまちになってほしくて応募した次第です。ですけれども、毎回専門知識をお持ちの方々の御意見に非常に学ぶことの多い2年数カ月でございました。もしこれがコロナでなければ、会議終了後、勉強会などを開いていただき専門家の皆さまからいろいろ勉強をさせていただきたかったなど。それが残念な点でございます。本当にいろいろありがとうございました。

【野澤委員長】 ありがとうございました。では永田さん、お願いいたします。

【永田委員】 永田でございます。私もこの2年間マスタープランの委員会に参加させていただいたことに本当に感謝を申し上げます。

108ページにございますように策定の経過が非常に細かく書かれてあるのですが、このような多くの検討会に参加された市民の皆様と事務局の皆様方に本当に御礼を申し上げる次第でございます。

先ほど本編を拝見しておりまして、懐かしい写真、特に武蔵小金井の南口の写真、小金井街道のアーケードであるとか三角屋根の古い駅舎であるとか、日々通勤しておりましたので懐かしいなという思いで拝見したわけですが、野澤委員長からもございましたし、市古先生からもあったわけですが、かなり武蔵小金井駅周辺が変わってきたわけでございます。これについても20年前であるとか、もっと前かもしれませんが、そういう都市計画を真剣に考えてこられた皆様方が議論されて、そしてこういうまちができてきたと個人的には思っております。

中学生検討会というのがございましたが、若い方々の意見も参考に議論してきた今後の20年の都市計画のマスタープランでございますし、これからの20年というまちづくりを若い方々に実現していただきたいと思っております。このような夢を抱いていけるようなマスタープランづくりに、少しでもご協力をさせていただいたことに改めて感謝を申し上げる次第でございます。本当にこの2年間ありがとうございました。

【野澤委員長】 ありがとうございました。では次は平尾さん、お願いいたします。

【平尾委員】 平尾です。私もこの会に参加させていただいて本当に多くのことを学ばせていただいたと思っております。私が住んでいるところが災害時活動困難地域だということをこの会議で、災害時何かあったときには少し活動が困難な地域に指定されているということを初めて知りましたし、それから、農家の方が一生懸命農地を守っているというのも初めて知りました。それから、私自身はまだ見たことがないのですが、小金井にホテルがいるということもこの会で初めて知りましたし、本当にいろいろなことを大切に思って過ごされている方がいて、安全で安心でみどり豊かなまちという、まさに目指しているところが皆さんの思いが表現されたような、安全・安心、みどり豊かなというところにそれがたくさん盛り込まれたプランになっていて、こういう委員になって少しこれが実現され

たら本当にすごい素敵なまちだなと思ってこのプランをずっと見させていただきました。少しでもそういうプランの中に自分加わることができて、すごくいい経験ができたと思っています。このプランがちゃんと少しずつ実現されるかを小金井に住んで見守っていきたいと思っています。ありがとうございました。

【野澤委員長】 ありがとうございます。それでは三笠さん、お願いいたします。

【三笠委員】 三笠でございます。私は商工会から推薦されまして、商業部会長をやっています関係でこの委員会に出させていただきました。

この委員会は最初何をやるのかなという感じでしたが、野澤委員長、高見副委員長、そして委員の皆様、すごく皆さんいろいろなお考えというか、小金井市に対しての、小金井のマスタープランを作るためにみんなで協力してやっていこうという活発な意見が出てすごく有意義な会議だなと思っています。それから、これをまとめていただきました事務局の皆さんの努力も相当な努力だと思っています。

私は商工会の立場で、これにも出ていますが、やはり駅前以外は小さい商店が多い。その人たちが一生懸命回遊性を持っていろいろなところに行っていたきたい。幸いにして小金井は小金井公園、野川公園と都立の公園がありまして、自然豊かで、いろいろな人に聞くと住んでみたいまちではわりと上位に必ず来るまち、土地代が高いので住めないよなと言う私たちの仲間もいるのですが、言ってみれば住みやすいいい環境であると。このいい環境をずっと守っていて、そして商工業者も後継者問題などいろいろな問題はありますけれども、続いていけるような、そんな仕組みを持っていただければと思っています。

そしてあと1つは、これから高齢化社会に向かっていきまして、買い物支援などもこれからは考えていかなければいけない。これは商工会だけではなく、行政も絡んでみんなでいろいろな地域が、これも3つの地域に、野川地域、武蔵小金井地域、東小金井地域というふうに出ておりますけれども、いろいろなところにお住まいになっている人たちが、便利に生活ができるような、そういう環境が持てるような地域、そこが小金井市のいいところだというような、このマスタープランに沿って商工業者もやっていきたいと思っています。以上でございます。ありがとうございました。

【野澤委員長】 ありがとうございます。では水庭さん、お願いいたします。

【水庭委員】 水庭です。私のほうは小金井市らしいマスタープランができたかなと思っていただいて、2年間かけて皆様の、委員の皆様もそうですが、事務局の皆様もすごい力を注いでいただいとててもいい内容になったかと思っています。

先ほど市古先生からですかね、小金井市らしいマスタープランということもお話が出たのですが、

本当に小金井市らしいというか、郷土愛に満ちたようなマスタープランになったなと思っております。小金井市の素晴らしいところは自然が多くて、人の住まいの近くに自然があって、すごくバランスがいいんですね。そこがとても誇れるところがありまして、既にキーワード的には安心・安全なまちとか住みやすいまちという言葉があったのですが、とてもバランスがよくて健康的なまちだなと思えました。バランスを欠いてしまうと不健康とか不健全となっていくのですが、そういうことではなくて、生態系もちゃんと守られたみどりの環境もありますし、人々がリラックスして生活できる、そういう駅前の表現がありましたけれども、本当に小さいお子さんから高齢者の方まで住みやすいまちづくりになっていけるように、このマスタープランもぜひ今後も継承していただけて、今後進行管理などもございますけれども、ぜひこれからも都市、まちとして発展して行ってほしいと思えました。以上です。

【野澤委員長】 ありがとうございます。続いて山本さん、お願いいたします。

【山本委員】 山本です。私は安田前委員の後を引き受けまして、令和3年1月の第5回から参加させていただきました。ほとんどウォーミングアップもなく、突然5回満塁ノーアウトというような形で登板しまして、準備が整っておりませんでした。なかなか失礼な物言いもしたかと思えます。申し訳ありませんでした。今回大変立派なものできたと思っています。コラムや写真がついて読みやすい、いいものになったのではないかと思います。事務局の御苦勞に大変感謝しております。

こういう機会ですから申し上げたいのですが、最近、小金井市もE S Gの自治体宣言を出したりしております、今回都市計画道路というのが策定の際に大きな争点というか、対立点になって激しいやりとりもあったと思います。今日は谷さんがいらっしゃらないので大変残念なのですが、非常に高い見地からの御意見を伺ってなるほどなと思うこともございました。

私は国際的なことをやっているものですから、最近E S Gという言葉が毎日のように新聞に出ています。何のことかなと思ってわからなかったのですが、最近マレーシアのサラワク州というところがございまして、そこでE S Gの投資をしてくれということを州の首相が言っていて、何のことかなと最初はわからなかったのですが、よく話を讀んだり聞いたりしていますと、要するにサラワク州の森林に欧米の企業が投資して、そこでみどり、CO₂の問題で排出権を得たり、それからみどりそのものを出して行って、企業にとっても排出権を利用してオフセットして埋め合わせていくということもございまして、世界中のCO₂の問題の寄与になるということで進めていて、なるほどなというふうにとんと落ちたのですが。

今度このマスタープランができて、その過程で第5次基本構想で市民にアンケートとかパブリックコメントとか環境団体といろいろ意見交換する中で、小金井の市民はみどりを愛している。それに沿

ったような形でまちづくりを望んでいるんだなということを改めて思い知ったような次第です。

立派なマスタープランができて、今日は市長さんにお渡しすることができたのですが、懸念していることもございます。というのは、前にも1度紹介しましたが、みどりの基本計画の中で、過去10年間で40haのみどりが失われてしまった。これは小金井公園の半分ぐらいです。しかもこれから令和12年に向けて、生産緑地で行くと8ha、全体としては20ha減るという予測が出ているわけです。立派なマスタープランができてみどりを大事にしようということなのですが、実際にそれをどうやって守っていくかということは非常に懸念しているところです。というのは、高橋委員が非常に御苦労されているのですが、今年の秋に生産緑地の指定が解除されて、一斉に宅地化へ向かうという悲観的な予測もあります。そうするとみどりの基本計画で出ている以上に小金井の重要な資産であるみどりが失われていくのではないかと懸念もあります。せっかくできたマスタープランですし、みどりを重視するということがあるわけですから、今後、小金井でみどりを重視するというまちづくりに是非このマスタープランを市民の方も読んでいただいて、そういうまちづくりの方向に生かしていただけるようなことができたらと思っております。以上でございます。

【野澤委員長】 ありがとうございます。それでは若藤委員、お願いします。

【若藤委員】 若藤です。ありがとうございます。私は市の職員として参加させていただきましたが、幼いころから小金井市で育ってきたこともありまして、ずいぶん的外れな発言も多かったのではないかと今反省をしております。その一方で、多くの皆様の参加によりまして素晴らしいマスタープランができ上がってきたなと思っております。今後はこの都市計画マスタープランの実現に向けて、夢や理想とともに厳しい現実もあるかと思えますけれども、緊張感を持ちながらまた引き続き携わってまいりたいと思っております。皆様、どうもありがとうございました。

【野澤委員長】 ありがとうございます。今日谷委員が御欠席なのですが、事務局でコメントをいただいているということですので御紹介ください。

【事務局】 事務局でございます。それでは谷委員よりマスタープランに関わった皆様へということでメールにて感想をいただいておりますので、事務局より読み上げさせていただきます。

「小金井市はマスタープランがあるので評価が高い、という言葉に励まされて、策定委員として参加させていただいて足掛け3年となりました。最後の市長への提出という場面で参加できず、申し訳ありません。私の感謝とお願いを申し上げたいと思います。

マスタープランに関わった皆様の真摯な姿勢、中学生を含む多くの市民の声をすべて受け止めて、できる限り反映しようとした事務局の皆様には厚くお礼申し上げます。

私にとっても大変刺激的で、打合せの前に調査するなど、大変勉強になりました。本当にありがと

うございます。

小金井市が誇れるものとして最初に挙がる言葉は、小金井さくら、自然が豊かという言葉になると思いますが、それに小金井市の行政と市民の意識の高さを加えたいと思っています。

このマスタープランには、多くの市民の声と策定委員の真摯な議論が詰まっています。事務局の取組により、図表や用語解説にまで神経が行き渡っている素晴らしい内容になっています。マスタープラン策定の発表と今後の行政に活用するだけではもったいないと思い、以下のお願いを申し上げます。

マスタープランを教材として、小金井市の未来を担う小学生、中学生に、「君たちの意見を反映させて小金井市の未来を考えたこと、未来を考えることは多様な意見を受け入れて、その上で正しいと思われることをまとめていく作業であること」を伝えることを御検討いただきたいと思っています。

そうすることで、子どもたちに未来を考える機会を与えることになります。相互尊重をベースに支え合う素晴らしいまちづくりがこの次のマスタープランにつながっていくと思います。さらに、小金井市の誇りとしてマスタープランが挙げられるようになれば、この上ない喜びになります。以上が私の感謝とお願いです。ありがとうございました。」以上でございます。

【野澤委員長】 御紹介いただきましてありがとうございます。では、副委員長をお務めいただいた高見先生、お願いいたします。

【高見副委員長】 副委員長ということで役割がどちらかというと少なかったのですが、私からも感想のようなことを申し上げたいと思います。

まず2点ございまして、1点目は非常に正確で緻密なマスタープランができたなという印象です。これは私が初回から一貫して申し上げているのですが、我が国の都市計画マスタープランというのはその名前や法律の組み立てから都市全体を計画するように聞こえますが、実は都市計画の世界の方針でしかないので、少しわかりやすく言うとまちづくりのマスタープランではないというふうに制度上はなっています。今回のマスタープランはそこのところは非常に正確に読まれていて、都市計画で受けるものについてどうするかというのが、語尾を直していただいて、かなり正確に書かれていて、ある意味逃げようがないように書かれていると思います。一方、まちづくりと言うふわっとしたほうについてはそれなりの書き方がされているということで、こういう緻密な都市計画マスタープランというのはあまり見たことがないので、そこのところについては大変よいものができたと思っています。

もう1つはみどりについてですが、私は私の一番の専門の授業でも、それからそこの公園をお願いするときにも、水・みどりと歴史にしか向かない関心という話をよくするんです。日本中の従前の計画が水とみどりと歴史のことを書いておけばいいやというふうにできていて、そこを黒で消すと何も内容がない。結局どれ一つ守られていなくて、書いてあるだけだということをよく言っているの

ですが、こちらのマスタープランはみどりのことしか書いていない。これはみどりをやるぞと宣言をされているのではないか。そこについても非常に、そう読めないかもしれませんが、その分非常にとんがった主張のある計画になっているなというところで、本当にこれがさらに実行されるかというのはあるのですが、先ほどの全般の話に関わりますが、語尾を含めて非常に正確に書かれているので、行政としての決意表明があらこちらに見えるという気がいたしますので、ぜひギリギリの場面で、それはそういうつもりで書いたのではないとかおっしゃらずに実現していただければいいなと思います。

非常に皆さんの御協力でよいものができたと思っているので、そのことを申し上げたいと思います。どうもありがとうございました。

【野澤委員長】 ありがとうございました。それでは最後に私から、一言で終わらないかもしれませんが、皆様の協力をおもちゃして、やっと今日を迎えることができました。委員の皆様には厚く御礼を申し上げます。

策定の経過を見ると、2020年2月14日に第1回の委員会をやっています。まだそのころは多分コロナは豪華客船の中でだけ起きているような状況で、他人事だったように思います。それが第2回の日程を見ると7月まで飛んでいますので、大変なことになって会議もどうしようかというふうに事務局は非常に悩んでこの委員会を運営されたのだらうと思っています。ですから、本当はもう少し早くできるはずだったのですが、ちょっと年限が延びてしまって今日に至ったというところかなと思います。

その第1回、ちょうどバレンタインデーですが、バレンタインデーにたしか午前中の会議だったと思います。出席して委員長席に座って一番驚いたのは、都市計画マスタープランの委員会の初回に傍聴席が埋まったということです。結構いくつも私はいろいろな自治体でマスタープランを作る委員会の座長をやっていたことがあるのですが、ほとんど傍聴者はいないですね。こうやって小金井市の市民の方々の関心の高さを思い知りました。これは大変な役を引き受けてしまったぞと思いました。

いろいろ悩みながら、事務局とも打合せ、多分ここに出ていない打合せが相当あったと思いますが、打合せをしながらここまでいろいろと詰めてきて、途中田部井さんに愚痴も言いましたが、やっとここまで来られたかなと思います。

計画は、先ほど副委員長からもありましたけれども、実現して何ぼだと思っています。実現できない計画は絵に描いた餅と一緒になんですね。私は学生に都市計画のことを教えるときに、計画って実現するために作るんだよという話をします。君たちの夏休みの計画ではないんだから、三日坊主で終わっては絶対いけないものだから。ですから計画は必ず実行するという心意気で作っていくべきだと。そう

いう意味で、先ほど非常に緻密に言葉を選んで作っているという御指摘もありましたけれども、そういう意味では実現できるものを作ってきたつもりでもありますし、事務局には恐らくその覚悟がこの2年数カ月の間でだんだんと醸成されていったのかなと思いますし、今日は市長もいらしていますから、市長もこれからの市政運営の中でしっかりとこれを実現していただきたいと思います。

もう1つは、今日皆さんからのコメントで素晴らしいものができたというお褒めの言葉をいただいたのですが、私自身は都市計画というのは絶対に100点のものにはできないと思っています。それはいろいろな意見があるからです。住んでいる人が何万人といる中で1つのものに全員の意見が同じ方向を向くということはむしろ気持ちの悪いものです。日本の社会にあってそれは絶対にあり得ないことですし、あってはいけないことだと思っています。都市計画というのは70点ぐらいでいいのかなと思っています。ですから、いろんな意見があって、それが顕在化してくるということがすごく大事なのかなと思いますし、この小金井市のマスタープランを作るに当たってはそういったことがかなりやられてきたと思いますので、これを実現していく段階でもまたいろいろな意見交換がされて実現していくと思いますけれども、そういったプロセスがすごく大事なんだと強く思った次第でございます。

やっとここまで来て、私も今日で委員長の任を解かれるということでちょっとほっとしておりますけれども、皆さんのご支援あつての委員長でした。どうもありがとうございました。

それでは、委員の皆さんから一言ずついただきましたので、市長に御挨拶をいただきたいと思います。

【西岡市長】 皆様、こんにちは。改めまして小金井市長の西岡真一郎です。こういった状況でございますので着座にて発言させていただきたいと思えます。どうか御理解のほどよろしく願いいたします。

まずは都市計画マスタープラン策定委員会の委員の皆様方におかれましては、令和2年2月14日に開催されました第1回策定委員会から本日までの11回にも及ぶ策定委員会での会議、また約3年弱の長期間にわたりまして大変御熱心な、御協議をいただきましたこと、改めて心から御礼と感謝を申し上げます。

また、皆様方からもございましたが、新型コロナウイルス感染拡大という私たちが初めて経験するパンデミックと直面しながらこの協議に御尽力をいただきましたこと、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

小金井市の都市計画マスタープランは概ね20年後の将来に向けてまちづくりの方針を示すものでございます。この20年というのは、本市のさまざまな計画がある中で最上位計画である基本構想ですら10年ですから、最も長いスパンを描く大変重要な未来性のある計画でもある。またそのことが

非常に困難さも増しているものと感じました。しかし、その中であっても、本日最終の報告をいただきましたこと、大変感謝をしているところでございます。

特に今回の改定は全面改定でありますから、これからの小金井市のまちづくりにとって必要な新しい目標、将来像などを示す非常に重要な方針でございます。

このことを踏まえまして、策定に当たりましては、事務局に対し、できるだけ丁寧な市民参加を図ること、またその市民参加の結果を策定委員会の皆様方にお示しをしながら委員の皆様からの御意見、御提案を最大限尊重しながら進めることを指示いたしまして、私自身も事務局から報告を受けながらともに検討してまいりました。

特に多様な市民参加をいただくために、市民3000人を対象としたアンケートを実施しました。また2回にわたるパブリックコメント、市民協議会、中学生の検討会、市民説明会に加え、まちづくりサロン、パネルの展示、また動画による周知など、新たな取り組みも行いながら、なるべく丁寧に進めてまいりました。途中市民の皆様方から、本市の豊かなみどりの保全及び都市計画道路のあり方などについて多くの貴重な御意見をいただいております。そういったさまざまな多様な御意見や熱い思い、そういったものを紡いでいただきましたが、その過程は大変な御苦労があったことと思います。

委員の皆様からは、自然環境、都市計画道路、交通、防災、農地など、幅広い内容についてたくさんの方の示唆に富んだ御意見を頂戴して回を重ねるごとに内容が充実し、自然と都市が調和した魅力ある新しいまちづくりを推進していくための実効性のあるマスタープラン（案）になったと感謝しております。

また、本日はすべての委員の皆様方からこの間の審議を通じての感想や思い、御提言、御指摘をいただきました。拝聴させていただきまして、大変私も今後のことにつきまして引き続きの責任の重さを痛感するとともに、策定委員会の委員の皆様方お一人お一人が非常に熱意をもってこの協議に臨んでいただいたということを改めて実感をさせていただきました。本当にありがとうございます。

特に今回私として肝に銘じていかなければいけないのは、どの計画もそうであります。特に今般は令和4年3月28日に小金井市の最上位計画であります第5次基本構想、前期基本計画を策定いたしました。その節目の年に当たりますので、都市計画マスタープランをはじめ、実にさまざまな計画の改定の時期を迎えてまいりました。この前後2年間の間には実にたくさんの計画を改定してまいりました。都市計画マスタープランもそうありますが、先ほど野澤委員長からも御発言がありましたように、こういった重要な計画、このプロセスも重要でありますし、よりよい計画を作るために全力を挙げてまいりましたし、市民参加という視点も大切にまいりました。この都市計画マスタープラ

ンという策定は1つの節目のゴールであるとともに、これは未来に向かって進めていく新しいまちづくりのスタート地点でもあります。まさしく実現するために計画はあると改めて私も肝に銘じてまいりたいと思っております。

このマスタープランを生かし、そして実践し、20年後の小金井市の将来像、基本構想とあいまってその実現に向けて引き続き市役所一丸となって、全庁挙げて努力をしておりますが、引き続き策定委員会の皆様方におかれましてはどうぞそれぞれのお立場でしっかりと本市行政を見守っていただき、監視をしていただき、時に御助言、御指摘もいただきたいと思っております。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

今後は、策定委員会の皆様からの御意見、御提案を踏まえたこの小金井市のマスタープラン（案）を8月12日に開催される都市計画審議会に諮り、8月中に策定する予定でございます。

最後になりますが、本マスタープランの策定に御尽力いただきました野澤委員長、高見副委員長をはじめ、委員の皆様にご改めて心より御礼と感謝を申し上げます。皆様改めまして本当にありがとうございました。引き続き小金井市のまちづくりに御支援を賜りますようお願い申し上げます。私の挨拶とさせていただきます。皆様本当にありがとうございました。

そして、ぜひ長期間にわたる期間御審議いただきました基本構想の策定委員会とほぼ匹敵する長さにもわたる御議論をいただきました。今般の新しい都市計画マスタープラン策定委員会の皆様方同士の絆、つながり、こういったものもこれからもどうか大切にしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。本日はまことにありがとうございました。

【野澤委員長】 西岡市長、どうもありがとうございました。我々も期待を持って見ていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。では、そのほか、事務局から何かございますでしょうか。

【事務局】 3点、事務局から事務的な連絡をさせていただきます。

まず1点目でございます。源泉徴収票についてです。前回お渡しした源泉徴収票ですが、まだ提出していただいている方につきましては委員会終了後、事務局職員まで御提出ください。併せて、本日持参されていない方につきましては、事務局職員へお声がけください。

次に2点目でございます。第11回策定委員会の議事録についてでございます。本日最終回となりますので、議事録の確認につきましてはメールで依頼をさせていただきたいと考えております。メール環境がない方につきましては郵送で依頼させていただきます。とりまとめ次第、期日を設けて議事録内容の確認をさせていただき、第11回策定委員会の会議録とさせていただきます。

最後に3点目、都市計画マスタープランの冊子の送付についてでございます。先ほど市長からの説明があったとおり、完成は8月を予定しておりますので、完成後、委員の皆様には郵送させていただきます。

きます。御確認ください。事務局からは以上でございます。最後に、野澤委員長、大変にありがとうございました。そして高見副委員長、各委員の皆様、これまで御協議いただきまして大変にありがとうございました。以上でございます。

【野澤委員長】 冊子は概要版も送っていただけるのですか。

【事務局】 はい、概要版もお送りします。

【野澤委員長】 ぜひ両方お願いいたします。それでは、本日の委員会はここまでということで閉会とさせていただきたいと思います。長時間にわたり熱心に御議論いただきましてどうもありがとうございました。本来であれば打ち上げでもしたいところではございますが、また第7波がやってきているということですので、真っ直ぐ帰りましょう。どうもありがとうございました。

(終了)